



特定非営利活動法人 **冒険あそび場**
- せんだい・みやぎネットワーク

活動概要

- ・被災地域・周辺の新たな街が形成される地域においての、多世代が交流できる遊び場の開催
- ・仮設住宅・復興公営住宅等での交流サロン活動
- ・子育て講座の実施や、小学校の震災学習への協力

活動拠点：宮城県仙台市

活動内容

解決したい社会課題

地震および震災による生活環境・学校環境等の変化により、直接・間接の不安やストレスを感じている方が少なくない
→子どもの遊び場を軸に心のケアや人のつながりづくりを行い、状況を改善させたい

助成前の課題

- ・復興公営住宅等が立地する地域で、多様な人が交流できる場づくりが期待されていた
→2014年までの実績：17回／参加者257人
- ・津波被害を受けた現地再建地域でも、地域内＋地域を越えた交流の場が期待されていた
→2014年までの実績：4回／参加者210人
- ・震災発生後始まった活動が、地域に残るものとなるよう、住民主体の運営が期待されていた
→2014年までは未実施



助成後の変化

- ・復興公営住宅立地地域での交流活動
→97回実施／参加者5,053人
- ・現地再建地域周辺での交流・体験活動
→27回実施／参加者990人
- ・住民主体で運営された遊び場
→40回／参加者1,137人
- ・集団移転と復興公営住宅が立地する地区で、新住民と旧住民が、年齢や世代を超えて、ともに集う居場所づくりを行うことができた
- ・住民自身による場づくりの活動が生まれるところも出てきた



今後の展望

本事業で実施した遊び場やそこで生まれた人の輪を、何らかの形で地域に残していくことを目指す。通常の行政施策（例えば公園運営や子育て施設運営など、震災復興以外の施策）にも参画し、本事業を通して見えた地域の課題の解決に、より広く取り組んでいく。

寄付者へのメッセージ

東日本大震災発生後、被災した児童が多い地域の公園・仮設住宅等での巡回型の遊び場活動に力を入れてきました。子どもにとって遊びは、生きることそのもの。また、子どもの遊び場は、大人も含め多くの人と人をつなぐ役割も果たしてきました。震災発生からの息の長いご支援、本当にありがとうございます。

※2017年8月末時点